

病害虫発生予察注意報（第1号）

平成31年4月10日

神奈川県農業技術センター

病害虫名：果樹カメムシ類

作物名：ウメ、キウイフルーツ、カンキツ、ナシ、カキ、果菜類等

1 発生地域：県下全域

2 発生量：多

3 注意報発令の根拠

(1) 2018年はヒノキ球果の着果量が県内全域で多かったため、果樹カメムシ類が極めて多く増殖した。そのため、ヒノキ樹上のチャバネアオカメムシ成虫捕獲数が、9月中旬以降急増して10月上旬に最多となった(図1)。これらの成虫の多くが山林で越冬したと推察される。

(2) 2019年2月下旬～3月上旬にかけて実施した、山林における落葉中のチャバネアオカメムシ越冬調査では、捕獲数が過去10年間で2番目に多い(図2)。

(3) 県予察ほ(根府川)における落葉中のチャバネアオカメムシ越冬調査では、捕獲数が、確認できる範囲で過去最多となっている(図3)。

(4) カンキツ樹冠内で越冬しているツヤアオカメムシの叩き出し調査での捕獲数は、平年よりもやや多く、前年並であった(図4)。

(5) 以上より、果樹カメムシ類越冬世代成虫の多くが4月以降、果樹園などに飛来すると考えられるため、今後着果するウメ等果樹の他、露地果菜類などでも被害が多くなると予想される。

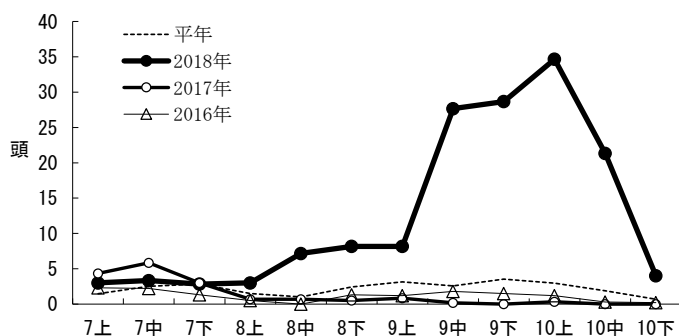


図1 ヒノキ樹上におけるチャバネアオカメムシ成虫捕獲数の推移(6地点平均)

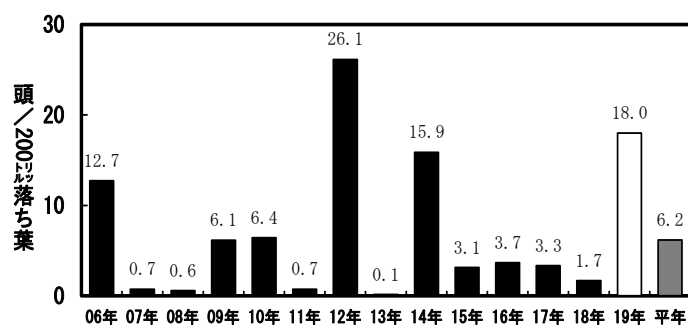


図2 落葉中におけるチャバネアオカメムシ成虫捕獲数の推移(湯河原・伊勢原)

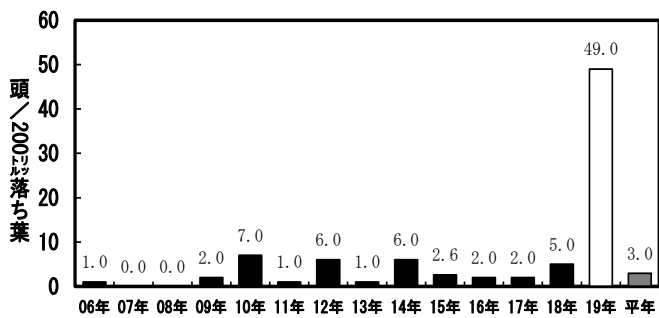


図3 落葉中におけるチャバネアオカメムシ成虫捕獲数の推移（県予察ほ・根府川）

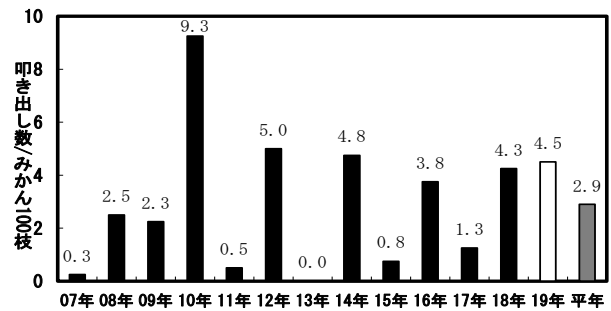


図4 カンキツ樹冠内におけるツヤアオカメムシ成虫捕獲数の推移（4地点平均）

4 防除対策

- (1) ほ場内外を見回り、発生を認めたら直ちに防除を行う。
- (2) チャバネアオカメムシには黄色防蛾灯が有効とされている。
- (3) カメムシ類に適用のある防除薬剤を下表に示した。（平成31年度県病虫害雑草防除指導指針掲載農薬）

なお、農薬使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し使用基準を遵守する。

表 防除薬剤例（○は登録有り、登録内容2019年3月27日現在）

薬剤名	IRAC コード	農薬登録の有無				
		ウメ	キウフルーツ	カンキツ	ナシ	カキ
スミチオン水和剤40	1B				○	○
キラップフロアブル	2B					○
アグロシリン乳剤	3A		○	○		
アグロシリン水和剤	3A			○	○	○
アディオン乳剤	3A		○	○	○	○
アーデントフロアブル	3A				○	○
スカウトフロアブル	3A	○			○	○
テルスター水和剤	3A			○	○	○
テルスターフロアブル	3A	○	○	○	○	○
マブリックEW	3A			○	○	○
ロデイー乳剤	3A			○		
ロデイー水和剤	3A				○	○
パーマチオン水和剤	3A+1B				○	○
アクタラ顆粒水溶剤	4A	○		○	○	○
アルハリンまたはスタークル顆粒水溶剤	4A	○	○	○	○	○
ダントツ水溶剤	4A	○	○	○	○	○
バリアート顆粒水和剤	4A				○	
モスピラン顆粒水溶剤	4A			○	○	○

神奈川県農業技術センター
病虫害防除部
〒259-1204 平塚市上吉沢1617
TEL 0463-58-0333
FAX 0463-59-7411
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/>